

2026年度（第46期）

通常総会資料

共創と成長投資による 価値創出

と き：2026年5月22日（金）

と ころ：琵琶湖ホテル

一般社団法人 滋賀経済産業協会



大阪・関西万博開催
(2025年4月～10月)

当協会では、会員企業の皆様への周知・参加促進活動を実施いたしました。

一般社団法人 **滋賀経済産業協会**

〒520-0806 大津市打出浜2番1号
コラボしが21 5階

TEL 077(526)3575 (代)

FAX 077(526)3577

E-mail : info@s-keisankyo.or.jp

<https://www.s-keisankyo.or.jp>

2026年度 通常総会次第

第1部 通常総会 (14:30~15:10)

1. 開会のことば
2. 議長選出
3. 議事

提出議案

第1号議案

2025年度(第45期)事業実績報告と決算の承認について

第2号議案

2026年度(第46期)事業計画と予算の承認について

第3号議案

任期満了に伴う役員改選について

第4号議案

会費の額と払込方法について

付帯決議

1. 年度の途中において事業計画及び収支予算の一部を変更又は補正するに至ったときは、総会の決議に背かない範囲内において理事会の決議により、これを変更又は補正することができる。

第2部 講演会 (15:40~17:00)

演題 オプテックスのDX経営

講師 オプテックス株式会社 取締役会長 上村 透 氏

第3部 会員懇話会 (17:30~19:15)

総会に対する理事の提出書

2025年度事業実績報告書及び正味財産増減計画書、貸借対照表、財産目録を総会に提出します。

一般社団法人 滋賀経済産業協会

会 長 石 井 太

会 長	石井 太	理 事	宇野 克彦
副 会 長	磯田 隆雄	〃	撰 裕喜
〃	川口 剛史	〃	大日 陽一郎
〃	高津 真一	〃	大島 節子
〃	上月 嘉継	〃	大塚 誠嚴
〃	清水 雄二	〃	大西 健太郎
〃	高田 豊郎	〃	大西 誠
〃	高橋 康之	〃	奥田 克実
〃	中作 佳正	〃	奥田 浩士
〃	中村 真人	〃	小田柿 喜暢
〃	堀内 勝美	〃	蒲生 仙治
専務理事	川西 民雄	〃	北川 吉治
常任理事	浅野 邦彦	〃	熊本 吉喜
〃	有森 淳三	〃	河野 雅行
〃	大西 淳一	〃	坂口 康嗣
〃	奥村 晋一	〃	竹下 元
〃	小椋 秀男	〃	田代 芳樹
〃	清水 貴之	〃	谷口 彰
〃	鋤本 浩	〃	辻 昌宏
〃	杉本 勇喜一	〃	寺嶋 嘉孝
〃	高井 文彦	〃	富田 将斗
〃	谷川 昇	〃	友岡 正明
〃	西山 和宏	〃	西脇 紀孝
〃	福田 弘	〃	伴 哲哉
〃	堀 英二郎	〃	三浦 武也
〃	森 和之	〃	森 さおり
〃	山本 勝彦	〃	横江 雅弘
理 事	荒金 秀行	〃	米田 吉克
〃	井門 英也	監 事	大杉 成聖
〃	石田 秀幸	〃	黒杭 隆政
〃	井手 慎司	〃	芝原 茂樹
〃	上村 透		

氏名50音順

監 事 の 意 見 書

一般社団法人滋賀経済産業協会定款22条の規定により、2025年度事業にかかわる以下の項目について詳細監査の結果、いずれも適正且つ正確なることを認めました。


2025年度

1. 事業実績報告書
2. 会員動向
3. 正味財産増減計算書
4. 貸借対照表
5. 財産目録
6. キャッシュフロー計算書

2026年 4月21日

一般社団法人 滋賀経済産業協会

監事 大杉成聖 

監事 芝原茂樹 

第1号議案 2025年度（第45期）事業実績報告と決算の承認について

2025年度 事業報告

昨年度は「2025大阪・関西万博」が盛況のうちに幕を閉じ、また滋賀県では「国スポ・障スポ2025」が県内各市町で開催されました。いずれのイベントも新技術等の社会実装への期待や地域スポーツの振興の節目として、時代を越え受け継がれるレガシーとなりました。

さて、われわれ会員企業は、米国トランプ政権の相互関税に始まった先行き見通しの不安定化、そして、原材料高騰に伴うコスト上昇、人材不足への対応など、多くの経営課題に直面しました。

このような環境下、昨年度は「共創領域の拡大による価値創造」をテーマに掲げ、事業を展開して参りました。事業の柱である委員会・研究会活動を通じて企業の人材育成に少しでも寄与できれば、との思いを持って取り組みました。以下、昨年度の事業概要について報告いたします。

労働雇用の分野では、共通課題である人材確保について、県内企業の高校生採用は年々厳しさを増しています。これに対し、参画している高等学校就職問題検討会議において、滋賀県における高校生の就職慣行を見直し、2026年度より一次選考の求人募集方法を「指定校求人のみ」から「指定校求人か公開求人か選択可」に変更となる要望が実現される運びとなりました。

また、外国人材について、5年前に締結したハノイ工科大学、滋賀県との三者覚書に基づき、11月に「第4回ベトナム・ジョブフェア」を開催しました。県内企業16社が参加、滋賀県ブースは約970名が来場、面接実施205名、結果として27名の採用内定に至りました。また、ハノイ工科大学生の短期就業体験を実施、就業に加え生活・文化体験を通じて互いを知る機会を設けました。

障害者雇用については、教員民間派遣研修生を交えて、障害者雇用促進セミナーと養護学校見学会を3回開催、また、中高年世代の合同就職面接会を通じて、雇用サポートに注力しました。

そして、県立高等専門学校の2028年開校に向けて、「県立高専共創フォーラム」が開催され、いよいよ構想段階から具体化へ始動しました。企業との連携授業、インターンシップなど、開校に向けた要望、意見などを反映できるように引き続き努めて参ります。

「滋賀県新技術・新工法展示商談会」では、計3回（兵神装備様、大阪開催、ダイフク様）の開催を通じて、見積・試作数は約54件と、多くの未来志向の商談接点を創出しました。特にダイフク様・商談会では来場した技術者は2日間で約850人に上り、これまでの最大規模となりました。

各地域で開催する「地域別会員懇話会」は湖北・湖東地区、高島地区、東近江・近江八幡地区の3地区で開催しました。市町の首長、商工観光労働部・教育委員会、滋賀労働局が参加し、地元の採用難、外国人雇用に関する生活支援、各市町の産業支援策への要望など、様々な意見交換を行い会員相互のコミュニケーションを図りました。

会員企業数は2026年3月末、469社（前年比+1社）となりました。会員ご紹介など、引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。また、広報事業ではHP、経産協ニュースについて、昨年度、これらを刷新しPR機能を強化しました。

最後になりますが、滋賀県経営者協会、滋賀工業会の発足以来、地域産業の発展を目指し取組んできました。会員企業様のさらなるご発展を祈念申し上げるとともに、行政要望や研究会事業を通じて、会員企業様のご発展に寄与できるように活動を展開して参ります。

皆様方の倍旧のご支援をお願い申し上げます。

2025年度 事業報告一覧表

事業項目	実施回数
1. 総会、理事会、監査等	4
(1) 総会	1
(2) 理事会	2
(3) 定期監査	1
2. 委員会活動	62
(1) 総務委員会	2
①人選委員会 2026年度通常総会における役員改選について	1
②地域別会員懇話会（湖北・湖東地区、高島地区、東近江・近江八幡地区）	3
③会員の交流と親睦(定例ゴルフコンペ、一八会)	4
(2) 経営委員会	2
①各種セミナー、高校見学会（瀬田工業高校、守山北高校）、障害者雇用促進セミナー	9
②スリランカ・シンガポール経済視察2025 視察先：JETROコロンボ、TOS LANKA、KOHOKU LANKA、 Marubeni Asean、時事通信社、Nissin Kogyo Asia	1
③中小企業モノづくり部会	3
④ハノイ工科大学と滋賀県との連携事業（労働政策委員会共催）	3
⑤調査研究（会員景気動向調査に関するアンケート調査）	1
(3) 技術委員会	2
①セミナー、大学見学会（京都橘、立命館、滋賀職能大）、技能訓練、第22回カイゼン大会	6
②しがモノづくり技術プロモーション事業（県負担金事業）	3
(4) 環境委員会	2
(5) 明日の滋賀を創造する委員会	2
①滋賀県立高専インターンシップ説明会（滋賀県立高専共創フォーラムとの共催）	1
(6) 労働政策委員会	2
①ハノイ工科大学と滋賀県との連携事業（経営委員会共催）	3
②高校見学会（瀬田工業高校、守山北高校）、障害者雇用促進セミナー（経営委員会共催）	5
③滋賀県の大学と企業との交流会	1
④調査研究（賃金調査等）	5
⑤令和7年度中高年世代活躍応援プロジェクト（滋賀労働局委託・びわ湖放送再委託事業）	1

事業項目	実施回数
3. 研究会・部会事業	61
(1) 研究会活動	
①人活×人事・労務研究会	6
②安全マインド育成研究会	3
③現場見学研究会	6
④未来のチャレンジャー育成研究会	8
⑤共創型リーダー育成研究会	6
⑥IoTの基礎を学ぶ研究会	6
⑦品質保証研究会	6
⑧社会人が習得すべき必須スキルⅠ研究会	3
⑨社会人が習得すべき必須スキルⅡ研究会	3
⑩社会人が習得すべき必須スキルⅢ研究会	3
(2) あさって塾	6
(3) 労務研究会	5
4. 受託・補助金事業	4
(1) しがモノづくり技術プロモーション事業（滋賀県負担金事業）	
①滋賀県新技術・新工法展示商談会 兵神装備(株)滋賀事業所（7月）、大阪開催（10月） (株)ダイフク滋賀事業所（2月）	3
(2) 令和7年度中高年世代活躍応援プロジェクト（滋賀労働局委託・びわ湖放送再委託事業）	
①ミドル世代の合同企業説明会・面接会inしが	1

事業項目	実施回数
5. 関係団体との連携強化	135
(1) 日本経団連関連	15
(2) 関西経済連合会関連	15
(3) 連合滋賀関連	3
(4) 滋賀県働き方改革推進協議会（地方版政労使会議）	2
(5) 滋賀県高等学校就職問題検討会議	5
(6) 滋賀経済団体連合会関連	9
(7) 滋賀県社会保険労務士会との意見交換会	1
(8) 滋賀労働局との意見交換	1
(9) モノづくり支援団体連絡会議	1
(10) 教員民間等派遣研修生の受入れ（前期1名、後期1名）	2
(11) 最低賃金審議会	22
(12) 滋賀県労働委員会（使用者委員）	59
6. 広報・資料	73
(1) 広報	
①しが経産協ニュース（5月リニューアル）	11
②滋賀経済産業協会通信（メールマガジン）	57
③ホームページ（6月リニューアル）	—
(2) 資料	
①総会資料	1
②2025年度定例研究会募集冊子	1
③日本経団連「2025年版経営労働政策委員会報告」	1
④2025年度標準勤続者賃金（関西地域における賃金水準）	1
⑤労経資料	1

1. 総会・理事会 等

1. 総 会

回	月 日	場 所	議 件
1	5. 19	琵琶湖ホテル	2025年度 通常総会 第1号議案 2024年度（第44期）事業実績報告と決算の承認について 第2号議案 2025年度（第45期）事業計画と予算の承認について 第3号議案 会費の額と払込方法について 第4号議案 役員の補欠選任について 講演会 演題 経営者こそスキリング～DXの加速化に向けて～ 講師 国立大学法人滋賀大学 学長 竹村 彰通氏 会員懇話会

2. 理事会

回	月 日	場 所	議 件
1	4. 23	琵琶湖ホテル	第1回理事会 第1号議案 新入会員の承認について 第2号議案 令和6年度事業報告と収支決算書の承認について 第3号議案 会費の額とその払込方法について 第4号議案 役員の補欠選任について 第5号議案 通常総会開催について ・滋賀県商工観光労働部との意見交換 ・懇親会
2	3. 19	クサツエストピアホテル	第2回理事会 第1号議案 新入会員の承認について 第2号議案 2025年度事業報告（案）と2026年度事業方針（案）について 第3号議案 2025年度活動報告と2026年度活動計画について 第4号議案 2026年度予算（案）について

3. 定期監査

回	月 日	場 所	議 件
1	4. 18	事務局	2024年度 滋賀経済産業協会定期監査



2025年度通常総会・講演会



第1回理事会

2. 委員会活動

1. 総務委員会

回	月 日	場 所	議 件
1	4. 16	コラボしが21	(1) 新入会員について (2) 2024年度事業報告書及び収支決算報告について (3) 2025年度通常総会（5/19）について
2	3. 16	コラボしが21	(1) 2025年度事業報告（案）および2026年度事業方針（案）について (2) 2025年度委員会活動報告および2026年度活動計画について (3) 2025年度決算報告と2026年度予算（案）について (4) 人選委員会の報告 (5) 2026年度通常総会について

主管事業

人選委員会

回	月 日	場 所	内 容
1	10. 15	コラボしが21	2026年度通常総会における役員改選について 新副会長3名、新常任理事4名 新理事5名、新監事1名の検討

地域別会員懇話会

回	月 日	場 所	内 容
1	7. 23	マリアージュ彦根	湖北・湖東地区 (長浜市・米原市・彦根市・多賀町・甲良町・豊郷町・愛荘町) (1) 各機関からの情報提供 (2) 浅見 宣義 長浜市長との意見交換
2	11. 19	今津サンブリッジホテル	高島地区 (1) 各機関からの情報提供 (2) 今城 克啓 高島市長との意見交換
3	2. 12	ホテルニューオウミ	東近江・近江八幡地区（東近江市・近江八幡市・日野町・竜王町） (1) 各機関からの情報提供 (2) 小椋 正清 東近江市長との意見交換

会員の交流と親睦

回	月 日	場 所	内 容
1	10. 23	ジャパンエースゴルフ倶楽部	2025年度定例ゴルフコンペ
2	5. 29	ジャパンエースゴルフ倶楽部	一八会 第1回コンペ
3	9. 24	ジャパンエースゴルフ倶楽部	一八会 第2回コンペ
4	2. 25	ジャパンエースゴルフ倶楽部	一八会 第3回コンペ・新年会



地域別会員懇話会（湖北・湖東地区）



定例ゴルフコンペ（ジャパンエースゴルフ倶楽部）

2. 経営委員会

回	月 日	場 所	議 件
1	8. 7	クサツエストピア ホテル	(1) 2025年度各事業の具体的な進め方について (2) 米国関税措置に関する講演会 テーマ：米国トランプ政権の通商政策に日本企業は どう向き合うか 講 師：独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO） 調査部米州課長 伊藤 実佐子 氏 (3) 講演会 テーマ：学生が選ぶ働きがいのある企業 講 師：㈱友安製作所 担当執行役員 松尾 泰貴 氏
2	3. 4	クサツエストピア ホテル	(1) 2025年度活動報告および2026年度活動計画について (2) スリランカ・シンガポール視察報告 (3) サイバーリスクの実態と対策セミナー 講 師：東京海上日動火災保険株式会社

主管事業

回	月 日	場 所	内 容
1	4. 15	キラリエ草津	新入社員研修 (1) テーマ：信頼されるビジネスパーソンの基礎作り 9つのビジネススキルを1日で習得 (2) 講師：㈱アイルアソシエイツ チーフコンサルタント 金谷 真由美 氏
2	6. 30	滋賀県立瀬田工業 高等学校	瀬田工業高校交流会（労働政策委員会共催） (1) 学校紹介、施設・設備見学 (2) 進路指導課からの情報提供および意見交換
3	9. 2	米原市役所	第1回障害者雇用促進セミナー（労働政策委員会共催） (1) 県内養護学校における進路指導について 講師：長浜養護学校 松田 紘一 氏 (2) 事例紹介 障害者の戦力化 講師：ヤンマーシンビオシス㈱ 太田 光典 氏 (3) 意見交流会 (4) 定着にむけた支援について 講師：社会福祉法人あせんぶるおーる 田附 希 氏
4	9. 10	オンライン	欲しい人材に届くSNS活用セミナー (1) テーマ：サクッと使えるAIで、正しいSNS運用を実践！ 採用率30%アップが叶う新常識 (2) 講師：㈱BESW 代表取締役 田中 千晶 氏
5	10. 14	滋賀県立甲良 養護学校	滋賀県立甲良養護学校見学会（労働政策委員会共催） (1) 学校紹介・見学 甲良養護学校における進路指導について 講師：滋賀県立甲良養護学校 矢守 寿貴 氏 (2) 障害者雇用相談援助について 講師：川相商事㈱ 滋賀県発達障害者ケアマネジャー 倉場 眞弓 氏
6	11. 14	滋賀県立守山北 高等学校	守山北高等学校見学会（労働政策委員会共催） (1) みらい共創科の概要説明、授業風景見学
7	12. 8	コラボしが21	滋賀県の大学と企業との交流会（労働政策委員会共催）

8	2. 17	滋賀県立北大津養護学校	第2回障害者雇用促進セミナー（労働委員会共催） (1) 北大津養護学校における進路指導について 講師：滋賀県立北大津養護学校 進路指導部部长 田中 友恵 氏 (2) 学校見学 (3) 事例紹介 講師：新旭電子工業(株) 総務部 総務課 係長 中野 滯 氏 (4) 意見交流会 (5) 働き・暮らし応援センターについて 講師：湖西地域 働き・暮らし応援センター 主任 尾島 早苗 氏
9	3. 6	滋賀職業能力開発短期大学校	滋賀職能大見学会（技術委員会共催） (1) 各科概要説明・実習場見学（生産技術科、電子情報技術科、住居環境科）

スリランカ・シンガポール経済視察2025

回	月 日	場 所	内 容
2	11. 8 ～ 13	スリランカ シンガポール	訪問企業 スリランカ (1) JETROコロンボ（ブリーフィング） (2) TOS LANKA CO.,(PVT)LTD. (3) KOHOKU LANKA (PVT) LTD シンガポール (1) Marubeni Asean Pte. Ltd. (2) 時事通信社 (3) Nissin Kogyo Asia Pte. Ltd.

中小企業モノづくり部会

回	月 日	場 所	内 容
1	8. 26	日野精機(株)野洲工場	音響機器・医療機器・農機用部品の金属加工・板金・塗装
2	9. 29	(株)ジョーニシ 甲賀工場	農業用機械器具やホームセンター用陳列棚の設計・製造・販売
3	2. 4	(株)ホリゾン本社 びわこ工場	製本機器メーカーで世界シェアトップクラス

ハノイ工科大学との人材受入れに関する連携事業（滋賀県との共催）

回	月 日	場 所	内 容
1	8. 25 ～ 27	滋賀県内	ハノイ工科大学生の短期就業体験 来日学生10名 受入れ企業10社
2	8. 29	ピアザ淡海	ハノイ工科大学生と企業との交流会
3	11. 2 ～ 3	ハノイ工科大学	ジョブフェア（労働政策委員会共催）滋賀県参加企業16社 来場者数970名 面接実施人数205名 内定者数27名

3. 技術委員会

回	月 日	場 所	議 件
1	7. 16	草津市立 市民交流プラザ	(1) 2025年度各事業の具体的進め方について (2) ミニ講演 テーマ：DXソリューション事例の紹介 講 師：(株)PRO-SEED 代表取締役社長 青柳 孝幸 氏 テーマ：次世代ネットワーク IWOM APN（アイオン オールフォトニクス・ネットワーク）の 大阪・関西万博とAIの関わりについて 講 師：N T T西日本(株) 滋賀支店長 若林 宣公 氏

2	3. 9	山科精器(株)	(1) 2025年度活動報告と2026年度活動計画の検討 (2) 技術事例紹介 テーマ：「話しかけるだけで操作できる」音声AI時代の到来 講 師：(株)AIoT 代表取締役社長 中林 賢一氏
			(3) 講演 テーマ：革新的マイクロLEDディスプレイ実現に向けた希土類添加GaNLEDの事業化 講 師：立命館大学 総合科学技術研究機構 教授 藤原 康文氏 (株)IntraPhoton 代表取締役社長 本蔵 俊彦氏

主管事業

回	月 日	場 所	内 容
1	9. 11	京都橘大学	京都橘大学見学会 (1) 京都橘大学情報学教育研究センター概要説明 (2) 学内見学 (iCS研究デザインスタジオ、アカデミックリンクス)
2	10. 3	キラリエ草津	製造業のあらゆる業務を支える生成AIセミナー (1) テーマ：「AI が実現する世界 ～ Transforming Lives and Workstyles ～」 講 師：NTT西日本(株) 滋賀支店長 若林 宣公氏
3	10. 7	立命館大学	立命館大学グラスルーツイノベーションセンター見学会
4	10. 28 10. 29 10. 30	ポリテクセンター 滋賀	電気系保全実践技術講座（3日間コース） ～現場におけるトラブル発見法～
5	3. 6	滋賀職能大学校	滋賀職能大見学会（経営委員会共催）
6	3. 27	草津市立 市民交流プラザ	第22回カイゼン大会 (1) 事例発表 ①発表者：(株)インダ テーマ：「DX推進による生産性向上」 ②発表者：TOTOハイリビング(株) テーマ：「多様な働き方への挑戦 作業効率化による業務時間の削減」 ③発表者：新生化学工業(株) テーマ：「ロットカード発行のデジタル化」 (2) 生成AI活用に関する情報共有と意見交換 講 師：(一社)滋賀経済産業協会 山口 誠二氏

※しがモノづくり技術プロモーション事業（県負担金事業）P15参照



スリランカ・シンガポール視察



第22回カイゼン大会

4. 環境委員会

回	月 日	場 所	議 件
1	7. 8	草津市立 市民交流プラザ	(1) 2025年度各事業の具体的進め方について (2) 取組み事例紹介 ①テーマ：「ゼロカーボンに向けた関西電力の取組み」 関西電力㈱ 理事 滋賀支社長 大西 健太郎 氏 ②テーマ：「Daigasグループ カーボンニュートラルに向けた取組み」 大阪ガス㈱ 滋賀地区支配人 米田 吉克 氏 (3) 滋賀県琵琶湖環境部・総合企画部CO ₂ ネットゼロ推進課との意見交換会
2	2. 24	パナソニック 株式会社 暮らし アプライアンス社	(1) 2025年度活動報告と2026年度活動計画の検討 (2) 取組み事例紹介 ①テーマ：「自然共生サイトの連携でつむぐエコロジカル・ネットワーク」 ～パナソニック草津工場「共存の森」を事例として～ ②テーマ：「環境・物流2024年問題に対応した九州便モデルシフトの取組み」 ※2024年度 省エネ大賞「省エネ事例部門」 資源エネルギー長官賞（輸送分野）受賞

5. 明日の滋賀を創造する委員会

回	月 日	場 所	議 件
1	7. 2	草津市立 市民交流プラザ	(1) 2025年度各事業の具体的な進め方について (2) 高専開設準備局からの説明 (3) 未来の滋賀を担う理工系人材の育成について意見交換 講師：(一社) 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 事務局長 近藤 茂生 氏
2	3. 2	滋賀県大津合同庁舎	(1) 2025年度活動報告および2026年度活動計画について (2) 高専開設準備局 各コース準備教員との意見交換 テーマ：各コースの準備状況について 参加教員：情報系 立川特任教授 電気・電子系 横山特任教授 機械系 浅地特任教授 建設・環境系 木村特任教授

主管事業（滋賀県立高専共創フォーラムとの共催）

回	月 日	場 所	内 容
1	12. 3	野洲文化小劇場	滋賀県立高等専門学校インターンシップ説明会 (1) 各コース（電気・電子系、建設・環境系、情報系、機械系）の準備教員からインターンシップ概要の説明



第2回環境委員会（パナソニック草津工場）



第2回明日の滋賀を創造する委員会

6. 労働政策委員会

回	月 日	場 所	議 件
1	8. 5	クサツエストピア ホテル	(1) 2025年度各事業の具体的な進め方について (2) "ジョブ産雇"の取組み紹介：ベテラン人材活用編 講師：公益財団法人 産業雇用安定センター（ジョブ産雇） 滋賀事務所 所長 高原 清光 氏 (3) 滋賀労働局幹部との意見交換会
2	3. 12	コラボしが21	(1) 2025年度活動の報告と2026年度の計画 (2) 滋賀労働局による情報提供 ①障害者雇用およびその支援について

主管事業

回	月 日	場 所	内 容
1	6. 30	滋賀県立瀬田工業 高等学校	瀬田工業高校交流会（経営委員会共催） (1) 学校紹介、施設・設備見学 (2) 進路指導課からの情報提供および意見交換
2	9. 2	米原市役所	第1回障害者雇用促進セミナー（経営委員会共催）
3	10. 14	滋賀県立甲良 養護学校	滋賀県立甲良養護学校見学会（経営委員会共催）
4	11. 2 11. 3	ハノイ工科大学	ジョブフェア（滋賀県との共同事業 経営委員会共催）
5	11. 14	滋賀県立守山北 高等学校	守山北高等学校見学会（経営委員会共催） (1) みらい共創科の概要説明、授業風景見学
6	12. 8	コラボしが21	滋賀県の大学と企業との交流会（経営委員会共催） (1) 「2024年度卒業生の県内就職の状況について」 講師：（一社）環びわ湖大学・地域コンソーシアム 事務局 長 近藤 茂生 氏 (2) グループに分かれて交流会（参加大学：滋賀大学・滋賀県立 大学・滋賀短期大学・びわこ成蹊スポーツ大学・立命館大学）
7	2. 17	滋賀県立北大津 養護学校	第2回障害者雇用促進セミナー（経営委員会共催）

各種調査

回	月	内 容
1	9月	春季労使交渉妥結状況および新規学校卒業生決定初任給報告（会員企業）
2	9月	春季労使交渉妥結状況報告（日本経団連）
3	1月	標準勤続者賃金（関経連・関西経協）
4	2月	経営労働政策特別委員会報告（日本経団連）
5	3月	労経資料

※令和7年度中高年世代活躍応援プロジェクト（滋賀労働局委託・びわ湖放送再委託事業）P16参照



第2回労働政策委員会



障害者雇用促進セミナー（米原市役所）

会員企業の人材確保に向けた各委員会での主な取組

【高校見学会】

滋賀県立瀬田工業高等学校交流会（32社41名参加）



滋賀県立守山北高等学校見学会（14社17名参加）



【大学見学会】

滋賀職能大見学会（15社18名参加）



【大学と企業との交流会】

滋賀県の大学と企業との交流会（34社46名参加）



【障害者雇用促進セミナー】

第1回（47名参加）・第2回（35名参加）



【ハノイ工科大学ジョブフェア】

滋賀県内16社参加・面接人数205名・内定者27名



3. 研究会・部会事業

1. 研究会活動

回	内 容	参加者数 (名)	実施回数 (回)
1	人活×人事・労務 (年度テーマ) 人が集まる組織づくり ～基礎から学ぶ、人事労務の知識と実践～	12	6
2	安全マインド育成 (年度テーマ) 「安全の基礎と考え方」 および 「他社の取り組みを学ぶ」	15	3
3	現場見学 (年度テーマ) 現場ほど確実な講師はいない 新たな刺激と現場力向上のヒントを探る	27	6
4	未来のチャレンジャー育成 (年度テーマ) 滋賀から世界へ ～リーダーが果たすべき役割とは～	21	8
5	共創型リーダー育成 (年度テーマ) 組織におけるリーダーとして、良好な人間 関係を構築するためのコミュニケーションスキルを習得する	29	6
6	IoTの基礎を学ぶ (年度テーマ) アナログ・デジタル回路の基礎 各種センサの信号処理,通信の基礎を学ぶ	13	6
7	品質保証 (年度テーマ) 現場で品質保証の革新をおこない 品質不良ゼロを目指す	10	6
8	社会人が習得すべき必須スキルⅠ (年度テーマ) ビジネスパーソンが身につけるべき 社会人の基礎力を学ぶ	16	3
9	社会人が習得すべき必須スキルⅡ (年度テーマ) チームの力を最大化! 協働性とリーダーシップの実践スキルを学ぶ	20	3
10	社会人が習得すべき必須スキルⅢ (年度テーマ) 変化に対応する力! 柔軟性と創造力で未来を切り拓く	7	3
	合 計	170	50

2. あさって塾 (ジュニアクラブ)

回	開催日	場 所	内 容
1	4. 10	ホテル ボストンプラザ草津	2025年度総会 ・2024年度活動報告と2025年度年度活動計画 「2024年度活動報告について」 「2024年度収支決算報告について」 「2025年度活動計画について」 ・代表幹事、幹事の選出
2	7. 7	㈱SCREENホールデ ィングス 彦根事業所 レストラン千成亭	・㈱ SCREENホールディングス 彦根事業所 工場見学 ・㈱矢島製作所 代表取締役社長 矢島 育郎 氏の講話

回	開催日	場 所	内 容
3	9. 25	京都工業会合同企画 ㈱山岡製作所	同社 代表取締役社長 山岡 靖尚 氏の講話および見学 ※白鷺クラブとの合同開催
4	10. 28	薬師寺 JWマリオネット・ ホテル奈良	第21回 4会若手経営者 合同交流会 薬師寺 見学 講話 テーマ:「佛法の智慧に学ぶ「経済」人としての「経営」 のこころ」 講師 録事 小林 澤應 氏
5	2. 20) 2. 21	国内視察北九州・ 福岡方面	日本製鉄㈱ 九州製作所 八幡地区 見学
6	3. 13	琵琶湖ホテル	滋賀県知事 三日月 大造 氏との意見交換会

3. 労務研究会

回	開催日	場 所	内 容
1	7. 4	草津市民交流プラザ	(1) 総会/定例会 2024年度決算報告、会計監査報告 2025年度活動計画 (2) 企業情報交換
2	9. 9	キリンビール㈱ 滋賀工場	(1) 労働局幹部との意見交換会 労働局長、基準部長、安定部長、雇用環境均等室長 (2) 企業見学会
3	10. 30) 10. 31	㈱金津村田製作所 小松マテーレ㈱ ㈱小松製作所 (こまつの杜)	(1) 企業見学会 ㈱金津村田製作所 小松マテーレ㈱ ㈱小松製作所 (こまつの杜)
4	1. 19	ダイハツ工業㈱ 滋賀(竜王)工場	(1) 企業見学会
5	3. 17	TOTO㈱ 滋賀工場	(1) 企業見学会 (2) 定例会/交流会 2025年度活動実績報告 2026年度活動計画案検討



労務研究会こまつの杜



安全マインド育成研究会

4. 受託事業

1. しがモノづくり技術プロモーション事業（県負担金事業）

－ 滋賀県新技術・新工法展示商談会 －

【事業の基本的な考え方・目的】

本事業は県内企業が有する優れた技術を、若手の技術者交流を通じて、直接かつ具体的に提案する場として、未来志向の商談会を開催するもので、県内企業の新たなビジネスチャンスの創出を図ることを目的としている。本商談会に参加する企業にとっては、「大手企業の開発ニーズ収集」や「サプライチェーンへの新規参入」といった機会が得られる。一方、開催に協力する大手企業にとっても、「新規企業および新技術の発掘」「仕入れ先・取引先の多様化」「課題解決」などのメリットが期待される。こうした双方の利点を活かし、県内企業と大手企業の間で互いに有益な関係の構築を目指す。

【本事業の成果目標と本年度結果】

- (1) 年3回実施した商談会の試作依頼件数や見積もり図面検討依頼件数など、将来商談につながる可能性大の件数をカウントする。
- (2) 目標件数：商談可能性大件数：9件/年（3件/回）以上
- (3) 実績：51件の結果となり、今後商談成立に期待がかかる結果となった。

【本事業の主催】 滋賀県新技術・新工法展示商談会実行委員会

（事務局：滋賀経済産業協会）

滋賀県、滋賀県産業支援プラザ、滋賀県中小企業団体中央会、滋賀県商工会議所連合会、滋賀県商工会連合会、滋賀経済同友会、滋賀経済産業協会

【事業内容】

回	開催日	展示商談会	
1	7/29 (火)	開催場所	兵神装備(株)滋賀事業所（長浜市）
		出展企業 11社	(株)ISS山崎機械、(株)大橋鉄工、オプテックス・エフエー(株)、神港精機(株)、新江州(株)、(株)シンコーメタリコン、スターライト工業(株)、高橋金属(株)、(株)たけびし滋賀支店、日新産業(株)、(株)リネックス
		商談内容	(1) 来場者数140名 (2) 試作依頼：2件、見積もり図面検討：13件 (3) プレゼン大会及び工場見学会も実施
2	10/17 (金)	開催場所	大阪国際ビルディング（大阪市）
		バイヤー企業 9社企業	S & Cソリューションズ(株)、(株)クボタ、(株)コベルコ科研 (株)小松製作所滋賀工場（コマツ滋賀工場）、サンレー冷熱(株) (株)新日本テック、住電商事(株)、東洋紡(株) 犬山工場 (株)ヒガシノ
		参加企業 18社	(株)アトライズヨドガワ、近江鍛工(株)、大阪ウェルディング工業(株)、 近畿精工(株)、神港精機(株)、大正電機製造(株)、大洋産業(株)、東海電工(株)、 東レペフ加工品(株)、トクデン(株)、(株)ナカサク、日新産業(株)、扶桑工業(株)、 (株)マスイ、八十島プロシード(株)、山科精器(株)、山仁薬品(株)、 (株)リネックス
商談内容	近畿圏内の大手中堅企業9社に対し滋賀企業18参加し対面形式での商談会を行なった (1) 試作依頼+見積・図面検討依頼：5件		

回	開催日		展示商談会
3	2/5 (木) 2/6 (金)	開催場所	(株)ダイフク滋賀事業所 (日野町)
		大学・出展企業 4大学・24企業	滋賀大学、滋賀県立大学、立命館大学、龍谷大学、 (株)ISS山崎機械、(株)アテクト、(株)大橋鉄工、 オプテックス・エフエー(株)、タキロンシーアイシビル(株)八日市工場、 甲賀高分子(株)、作新工業(株)、(株)佐藤医科器械製作所、 (株)シンコーメタリコン、スターライト工業(株)、太陽パーツ(株)、 高橋金属(株)、(株)たけびし滋賀支店、東海電工(株)、(株)ナカサク、 ニデックマシンツール(株)、日本ソフト開発(株)、 不二電機工業(株)草津製作所、(株)藤中、(株)森田電器工業所、山科精器(株)、 (株)リネックス、(株)レイマック、NTTスマートコネクト(株)
		商談内容	(1) 開会式：出席者 三日月知事 (株)ダイフク 下代会長、寺井社長、 三品滋賀事業所長、秋葉執行役員 (2) 来場者数：801名 (3) 採用検討：32件、試作依頼：3件 (4) 大学との共同研究希望：3件



2. 令和7年度中高年世代活躍応援プロジェクト (滋賀労働局委託・びわ湖放送再委託事業)

ミドル世代の合同企業説明会・面接会inしが

バブル崩壊後の雇用環境が厳しい時期に就職活動を行ったいわゆる就職氷河期世代だけでなく、安定した就労を実現できず将来的に経済的な困窮のリスクを抱えている中高年世代の不安定就労者、就職困難者を対象に合同企業説明会・面接会を実施した。

開催日 2025年12月10日 (水) 13:30 ~ 16:00

会場 クサツエストピアホテル

出展企業 30社 (滋賀県内に就業所を有する)

対象 概ね35歳～59歳以下の滋賀県内で
正社員就業を目指す方

<当日の状況と結果>

来場者 130名

面接合計 236名 (のべ人数)

採用者数 8名



5. 関係団体との連携強化

1	日本経団連関連 (1) 幹事会 (1回) (2) 地方経協専務理事会 (3回) (3) 最低賃金対策専門会議 (1回)
2	関西経済連合会関連 (1) 定時総会 (1回) (2) 理事会 (5回) (3) 関西地方各地経協 専務理事会・事務局会議 (4回) (4) 関西大阪万博2025
3	連合滋賀関連 (1) 連合滋賀新春の集い (1回) (2) 連合滋賀との意見交換会 (1回) (3) 経営労働フォーラム (1回)
4	滋賀県働き方改革推進協議会 (地方版政労使会議) (2回)
5	滋賀県高等学校就職問題検討会議 (5回)
6	滋賀経済団体連合会関連 (9回)
7	滋賀県社会保険労務士会との意見交換会 (1回)
8	滋賀労働局との意見交換 (1回)
9	モノづくり支援団体連絡会議 (1回)
10	教員民間等派遣研修生の受入れ (前期1名、後期1名) (2回)
11	最低賃金審議会 (1) 本審 (5回) (2) 専門部会等 (17回)
12	滋賀県労働委員会 (1) 定期の総会 (24回) (2) 使用者委員会 (12回) (3) 労働相談・研究会・その他 (23回)



6. 広 報・資 料

内 容	
広 報	
(1) しが経産協ニュース (No. 255 ~ No. 265) *No. 256からリニューアル	11回
(2) 滋賀経済産業協会通信 (No. 1 ~ No. 57)	57回
(3) ホームページ *6月からリニューアル	
資 料	
(1) 総会資料	1回
(2) 2025年度定例研究会募集冊子	1回
(3) 日本経団連「2025年版 経営労働政策委員会報告」	1回
(4) 2025年度標準勤続者賃金 関西地域における賃金水準	1回
(5) 労経資料	1回



しが経産協ニュース リニューアル



ホームページ リニューアル

会員動向表

前期末会員数 (2025. 3. 31)	期中入会数	期中退会数	期末会員数 (2026. 3. 31)
468社	9社	8社	469社

正味財産増減計算書

2025年4月1日～2026年3月31日

単位：円

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
既会員会費	47,752,000	47,437,720	314,280
新入会員会費	479,100	668,000	△ 188,900
事業収入			
事業受託収入	1,237,500	16,359,012	△ 15,121,512
受取負担金			
負担金収入	18,543,928	20,878,788	△ 2,334,860
補助金等収入			
補助金収入	9,000,000	9,000,000	0
雑収益			
受取利息	89,323	22,105	67,218
雑収入	46,594	3,146	43,448
経常収益計	77,148,445	94,368,771	△ 17,220,326
(2) 経常費用			
事業費	28,241,588	45,954,432	△ 17,712,844
給料手当	4,467,127	9,974,582	△ 5,507,455
法定福利費	623,395	1,524,469	△ 901,074
福利厚生費	9,282	25,346	△ 16,064
旅費交通費	451,834	1,069,536	△ 617,702
通信運搬費	760,178	1,036,007	△ 275,829
会議費	3,626,932	5,169,550	△ 1,542,618
印刷製本費	715,326	1,841,720	△ 1,126,394
調査研究費	35,534	0	35,534
教育研修費	12,671,498	15,366,960	△ 2,695,462
広報費	2,098,439	2,116,560	△ 18,121
講師派遣料	1,412,838	2,399,252	△ 986,414
講師料	980,569	5,175,789	△ 4,195,220
渉外費	304,380	195,472	108,908
燃料費	84,256	59,189	25,067
管理費	47,150,423	44,374,267	2,776,156
給料手当	28,842,700	23,704,885	5,137,815
法定福利費	4,330,071	4,324,522	5,549
福利厚生費	1,066,734	1,096,267	△ 29,533

単位：円

科 目	当年度	前年度	増 減
旅費交通費	1,496,592	1,571,502	△ 74,910
通信運搬費	553,477	890,607	△ 337,130
会議費	2,609,989	2,631,261	△ 21,272
什器備品費	0	64,215	△ 64,215
消耗品費	323,110	583,885	△ 260,775
印刷製本費	437,855	437,855	0
共益費	451,220	484,664	△ 33,444
賃借料	3,547,337	3,541,011	6,326
減価償却費	6,211	6,211	0
租税公課	984,562	1,931,090	△ 946,528
負担金	1,423,800	1,495,800	△ 72,000
調査研修費	269,025	217,060	51,965
渉外費	22,000	0	22,000
損害保険料	79,032	3,000	76,032
雑費	706,708	1,390,432	△ 683,724
修繕費	0	0	0
経常費用計	75,392,011	90,328,699	△ 14,936,688
当期経常増減額	1,756,434	4,040,072	△ 2,283,638
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金戻入	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
退職給付引当金繰入	55,010	95,074	△ 40,064
役員退職慰労引当金繰入	665,000	665,000	0
過年度受託修正損			0
役員退職慰労金			0
経常外費用計	720,010	760,074	△ 40,064
当期経常外増減額	△ 720,010	△ 760,074	40,064
当期一般正味財産増減額	1,036,424	3,279,998	△ 2,243,574
一般正味財産期首残高	49,206,456	45,926,458	3,279,998
一般正味財産期末残高	50,242,880	49,206,456	1,036,424
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	50,242,880	49,206,456	1,036,424

貸借対照表

2026年3月31日現在

単位：円

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	90,250	110,059	△ 19,809
普通預金	40,959,685	42,364,753	△ 1,405,068
定期預金	8,098,454	8,094,996	3,458
未収還付消費税	21,700	0	21,700
預け金	1,000,000	1,000,000	0
流動資産合計	50,170,089	51,569,808	△ 1,399,719
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計			
(2) 特定資産			
退職給付引当預金	1,575,241	1,520,231	55,010
役員退職慰労引当預金	1,930,000	1,265,000	665,000
特定資産合計	3,505,241	2,785,231	720,010
(3) その他固定資産			
造作	195,129	201,340	△ 6,211
建物付属設備	3	3	0
什器備品	2	2	0
電話加入権	310,900	310,900	0
その他固定資産合計	506,034	512,245	△ 6,211
固定資産合計	4,011,275	3,297,476	713,799
資産合計	54,181,364	54,867,284	△ 685,920
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	1,356,828	△ 1,356,828
前受金	0	52,000	△ 52,000
預り金	161,983	179,390	△ 17,407
仮受金	271,260	322,979	△ 51,719
未払消費税等		964,400	△ 964,400
流動負債合計	433,243	2,875,597	△ 2,442,354
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,575,241	1,520,231	55,010
役員退職慰労引当金	1,930,000	1,265,000	665,000
固定負債合計	3,505,241	2,785,231	720,010
負債合計	3,938,484	5,660,828	△ 1,722,344
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
2. 一般正味財産	50,242,880	49,206,456	1,036,424
正味財産合計	50,242,880	49,206,456	1,036,424
負債及び正味財産合計	54,181,364	54,867,284	△ 685,920

注記 1. 退職給付引当金……………従業員の退職金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上
 2. 役員退職慰労引当金……………役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上
 3. 消費税等の会計処理……………税込方式
 4. 減価償却累計額……………1,045,966円

財 産 目 録

2026年3月31日現在

単位：円

科 目	金	額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金手許有高	90,250	
普通預金		
滋賀銀行 本店	377529	30,712,625
滋賀銀行 県庁支店	498800	0
関西みらい銀行 びわこ営業部	157791	947,711
りそな銀行 京都支店	1897931	1,004,454
商工中金 大津支店	1013548	1,088,037
京都信用金庫 滋賀支店	0135089	706,494
京都銀行 草津支店	3163043	1,054,445
滋賀銀行 草津西支店	421823	1,554,457
滋賀銀行 本店	822717	58,002
滋賀銀行 県庁支店	525956	0
滋賀銀行 本店	643164	0
滋賀銀行 県庁支店	493032	0
滋賀銀行 県庁支店	151816	1,288,656
関西みらい銀行 びわこ営業部	222440	339,455
関西みらい銀行 びわこ営業部	833632	2,205,349
定期預金		
滋賀銀行 県庁支店	37540623	1,030,515
滋賀銀行 県庁支店	10334903	4,002,476
関西みらい銀行 びわこ営業部	3009184	3,065,463
未収還付消費税	21,700	
預け金 野村證券	1,000,000	
流動資産合計		50,170,089
2. 固定資産		
(1) 特定資産		
役員退職給付引当預金 定期預金 滋賀銀行 県庁支店	10244194	1,930,000
退職給付引当預金 定期預金 滋賀銀行 県庁支店	10244194	1,575,241
特定資産合計		3,505,241
(2) その他固定資産		
電話加入権 077-526-3575		
077-526-3576		
077-526-3577		
計3本		310,900
附属設備		3
造作		195,129
什器備品		2
その他固定資産合計		506,034
固定資産合計		4,011,275
資産合計		54,181,364

単位：円

科 目	金 額	
II 負債の部		
1. 流動負債		
預り金 源泉所得税	161,983	
仮受金 職員社会保険	271,260	
流動負債合計		433,243
2. 固定負債		
役員退職給付引当金	1,930,000	
退職給付引当金	1,575,241	
固定負債合計		3,505,241
負債合計		3,938,484
正味財産		50,242,880

キャッシュフロー計算書

2025年4月1日～2026年3月31日

単位：円

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュフロー			
1. 当期一般正味財産増減額	1,036,424	3,279,998	△ 2,243,574
2. キャッシュフローへの調整額			
① 預け金の増減額	0	0	0
② 未収入金の増減額	△ 21,700	0	△ 21,700
③ 未払金の増減額	△ 1,356,828	1,011,654	△ 2,368,482
④ 前受金の増減額	△ 52,000	52,000	△ 104,000
④ 仮受金の増減額	△ 51,719	△ 454,478	402,759
⑤ 預り金の増減額	△ 17,407	△ 1,990	△ 15,417
⑥ 未払消費税等の増減額	△ 964,400	564,400	△ 1,528,800
⑦ 減価償却費	6,211	6,211	0
⑧ 退職給付引当金繰入額	55,010	95,074	△ 40,064
⑨ 役員退職慰労引当金繰入額	665,000	665,000	0
小計	△ 1,737,833	1,937,871	△ 3,675,704
3. 指定正味財産増加収入			
指定正味財産増加収入計	0	0	0
事業活動によるキャッシュフロー	△ 701,409	5,217,869	△ 5,919,278
II 投資活動によるキャッシュフロー			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
① 固定資産取得支出	0	0	0
② 退職給付引当預金預入額	55,010	95,074	△ 40,064
② 役員退職慰労引当預金預入額	665,000	665,000	0
投資活動支出計	720,010	760,074	△ 40,064
投資活動によるキャッシュフロー	△ 720,010	△ 760,074	40,064
III 財務活動によるキャッシュフロー			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計		0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動によるキャッシュフロー	0	0	0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額			
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 1,421,419	4,457,795	△ 5,879,214
VI 現金及び現金同等物の期首残高	50,569,808	46,112,013	4,457,795
VII 現金及び現金同等物の期末残高	49,148,389	50,569,808	△ 1,421,419

2026年度 事業方針（案） 「共創と成長投資による価値創出」

わが国ではこの2月、第二次高市早苗政権が発足しました。この高市政権では半導体や人工知能（AI）、そして造船など戦略17分野への「成長・危機管理投資」を看板政策に据え、強い経済へ期待が高まっているが、物価高騰、少子高齢化の進展など、様々な課題も抱えている。

上部団体である経団連は成長と分配の好循環を標榜し、設備投資と研究開発投資、人的投資を拡充する「投資牽引型経済」へとマインドセットの変革を目指しています。中でも、人への投資を拡充・促進し、賃金上げの力強いモメンタムの「さらなる定着」を実現する方針です。

国際情勢はウクライナ・中東などの局地戦争により、さらなる原材料高騰など、外部要因による国内経済への影響は避けられない状況です。また、AI関連に巨額投資が続いており、成長分野として期待される一方、米国トランプ政権による相互関税は米連邦最高裁の違憲判断により、世界経済は混迷する懸念があります。

このような情勢の中、私たちは引き続き「共創」をキーワードに、「共創と成長投資による価値創出」を今年度方針のテーマに掲げ、会員企業様の持続的な成長を目指して参ります。

社内外の知見とリソースを結集して事業変革を加速させ、それに必要な成長投資を戦略的に行うことが求められています。短期的な利益追求に留まらず、企業の持続的な成長と地域社会・産業の発展に貢献する経営の方向性に沿って、協会事業を展開したいと考えます。

そして、付加価値の創出と賃上げを実現するため、特に「価格転嫁」への取組みを官民、労使が連携して取り組みたいと考えます。この1月、下請法が「中小受託取引適正化法」に改正されました。特に、地域の中小企業は社会・経済の両面からサプライチェーンの重要な役割を担っており、前向きな事業の成長投資と合わせて、価格転嫁の浸透を地域産業界として進める方針です。

また、会員企業の共通する優先課題は「人材の確保・育成」です。特に研究会事業では、引き続き「人材育成」に重点を置いて活動を展開していきます。社員のリスクリングと各社の交流を促すため、経営幹部・従業員の皆様の積極的な参画をお願い申し上げます。また、「滋賀県立高等専門学校」は2028年開校に向けて着実に準備が進んでいます。県は産業界との共創を目指しており、会員企業の皆様のご要望や連携など、その期待に応えていく方針です。

労働雇用分野では、県内の各大学と会員企業の意見交換会、高校見学会を通じて、会員企業の人材確保の支援に焦点を当てて取り組む方針です。また、5年目となるハノイ工科大学と滋賀県共催のジョブフェアを通じて、高度人材を含めた外国人材の採用支援、そして障害者雇用のサポートについて、取組みを継続して参ります。

滋賀県の地域別最低賃金について、最低賃金審議会、本審・産業別委員としての参画を通じ、使用者（経営者）団体として、県別状況、産別審議、発効時期など、上昇基調が続く中で真摯な議論に努める方針です。

しがモノづくり技術共創マッチング事業では「滋賀県新技術・新工法展示商談会」を開催します。昨年度、計3回57社・大学が出席し新たな技術交流を目指しました。今年度も内容をさらに充実させ、県内産業の商談機会を促し、未来志向の共創を目指して参ります。

最後になりますが、会員企業の経営者・役員様を含むマネジメント層および社員様の交流、人材育成を通じて、滋賀県の経済・産業のさらなる発展に寄与したいと考えます。

引き続き倍旧のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

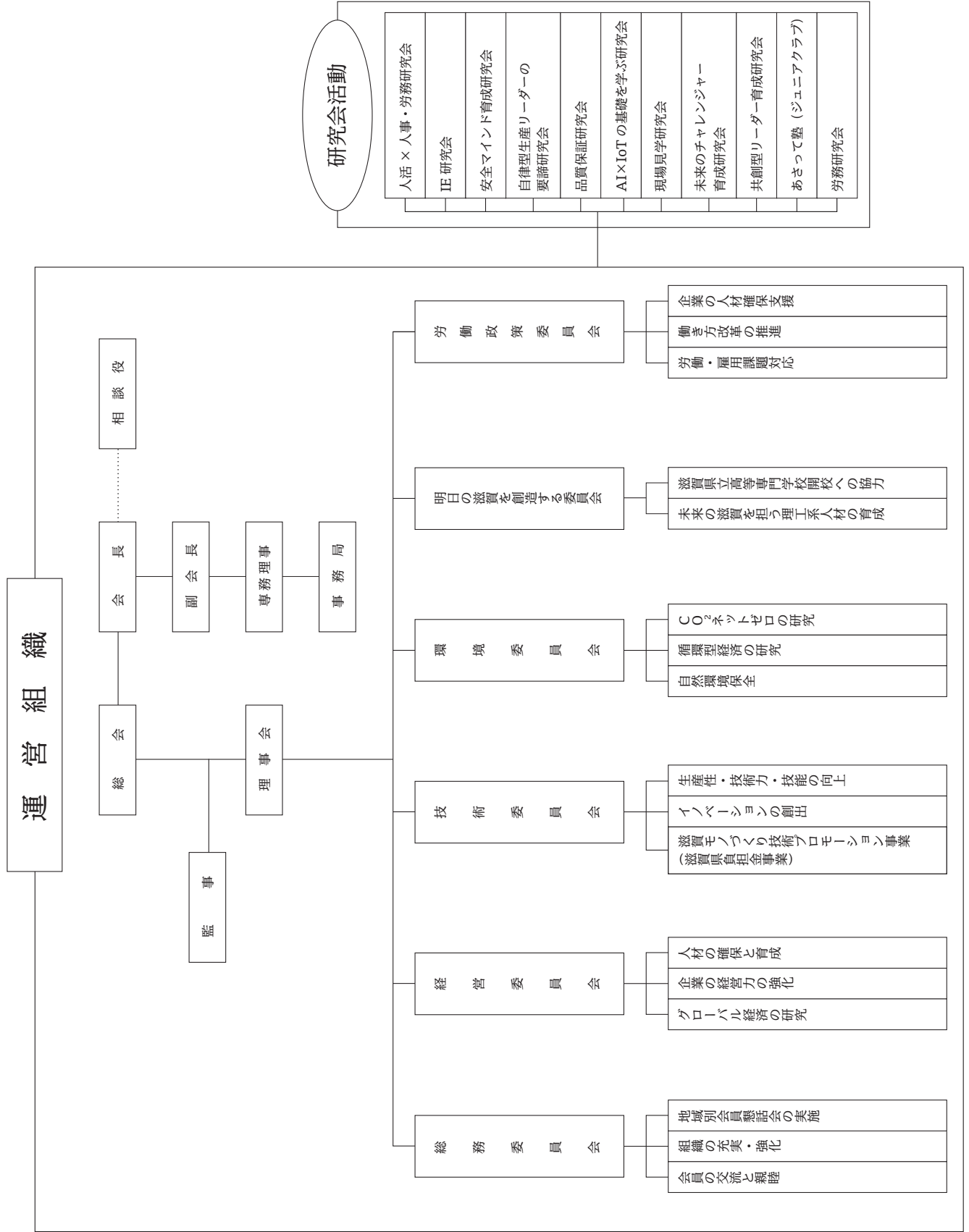
2026年度 事業計画 (案)

委員会	総務委員会	経営委員会	技術委員会
テーマ	組織の充実・知名度の向上・ 会員交流の推進	人材確保と育成 経営力の強化	現場力・技術開発力の向上と モノづくり技術共創マッチングの推進
事業計画	<p>1. 地域別会員懇話会の実施</p> <p>(1) 各地域の課題について行政と意見交換するとともに 委員会事業へ反映する</p> <p>①大津地区 (7月28日)</p> <p>②草津・栗東・守山・野洲地区 (11月)</p> <p>③甲賀・湖南地区 (2月)</p> <p>2. 組織の充実・強化</p> <p>(1) 会員の増強 (会員目標 500社) 会員による紹介をベースに勧誘活動を実施</p> <p>(2) 正副会長会を開催し活動の方向性や方針を検討</p> <p>3. 会員の交流と親睦</p> <p>(1) 定例ゴルフコンペ (10月22日) およびゴルフ同好会 (一八会) の開催</p> <p>(2) 講演会および会員懇話会の開催 (5月22日)</p>	<p>1. 人材の確保と育成</p> <p>(1) ハノイ工科大学、滋賀県との理系技術人材受入れ事業</p> <p>(2) 人材確保に向け県内高校、大学、滋賀職能大、専門学校など教育機関との連携</p> <p>(3) 産学連携を通じたりカレント教育 (滋賀大学 滋賀県立大学)</p> <p>(4) 研究会事業、その他研修事業の充実 ((1)(2) は労働政策委員会共催)</p> <p>2. 企業の経営力の強化</p> <p>(1) 中小企業モノづくり部会の実施</p> <p>(2) 多様な人材の活躍推進 (障害者雇用、高齢者雇用、女性活躍など)、エンゲージメントの向上</p> <p>(3) 企業の採用力向上のための広報活動の強化</p> <p>(4) 他社の従業員との交流推進</p> <p>(5) 大手企業との商談会の開催 (技術委員会共催)</p> <p>(6) 価格転嫁についての情報収集、パートナーシップ構築宣言の周知</p> <p>3. グローバル経済の研究</p> <p>(1) 海外情勢が日本企業へ与える影響について 情報収集 (協力: JETRO)</p>	<p>1. 生産性・技術力・技能の向上</p> <p>(1) 改善活動の継続推進 (研究会、セミナー、第23回カイゼン大会)</p> <p>(2) ポリテクカレッジ滋賀 (近江八幡) ポリテクセンター滋賀 (石山) での実務訓練</p> <p>(3) DX、AI、サイバーセキュリティの取組み AIセミナー (7月3日) 講師 日本マイクロソフト(株) 業務執行役員 エバンジェリスト 西脇 資哲</p> <p>2. イノベーションの創出</p> <p>(1) 滋賀県北部・南部産業技術共創センターの活用</p> <p>①2026年11月滋賀県北部産業技術センター移転新設オープン</p> <p>②オープンに合わせ、当会主催の見学会を11月に実施</p> <p>(2) 関西広域産業共創プラットフォームとの連携</p> <p>(3) 県内理工系大学及び公設機関との連携強化</p> <p>3. 滋賀モノづくり技術共創マッチング事業実行委員会の運営 (滋賀県負担金事業)</p> <p>(1) 県内中小企業のビジネスチャンスの拡大、大手・中堅企業へ直接かつ具体的に提案、未来志向の共創と、パートナーシップの構築</p> <p>(2) 新技術・新工法展示商談会の開催 7月 平田機工(株)関西工場 10月 (株)三社電機製作所滋賀工場 2月 近畿圏内の大手・中小企業との合同商談会</p>

2026年度 事業計画 (案)

委員会	環境委員会	明日の滋賀を創造する委員会	労働政策委員会
テーマ	環境保全と企業経営の両立	未来の滋賀を創造する エンジニア・理系人材の育成	企業の人材確保支援と 働き方改革の推進
事業計画	<p>1. CO₂ネットゼロの研究</p> <p>(1) CO₂ネットゼロ推進向けの事例研究 情報交換、最新技術の情報収集、 見学会の開催など</p> <p>(2) 滋賀県CO₂ネットゼロ推進課との 連携</p> <p>2. 循環型経済の研究</p> <p>(1) リサイクル/廃棄物削減などの事例研究 サーキュラーエコノミーへの取 組み、見学会の開催等</p> <p>(2) 滋賀県・関連団体との連携</p> <p>3. 自然環境保全</p> <p>(1) 生物多様性の事例研究</p>	<p>1. 2028年滋賀県立高等専門学校 校開校への協力</p> <p>(1) 高専開設準備局および滋賀県立 高専共創フォーラムとの連携</p> <p>(2) 産業界の想いを反映し地域密着 の高専に</p> <p>①未来の滋賀県を担うエンジニアの 育成</p> <p>②地元企業との共同研究（各社の 課題解決）、企業内技術者の教育、 技術交流拠点</p> <p>2. 未来の滋賀を担う理工系人材 の育成</p> <p>(1) 高専設置の機運醸成を、将来の 理系人材育成につなげ、 理工系に興味を持ってもらう きっかけとする →理工系大学、高専、工業高校 への進学 高専を小中学生が集える施設に</p> <p>(2) 滋賀県南部および北部産業技術 共創センター (2026年11月オープン)などの 活用</p> <p>(3) 10年後の滋賀に必要な人材につ いて考える</p>	<p>1. 企業の人材確保支援</p> <p>(1) 大学と企業の意見交換会</p> <p>(2) 高校見学及び意見交換会 (県内高校との連携)</p> <p>(3) ハノイ工科大学就職支援関連事 業（経営委員会共催）</p> <p>(4) 障害者雇用の推進と学校との連 携</p> <p>(5) 高齢者雇用の推進 (産業雇用安定センターとの意見 交換)</p> <p>(6) 中高年世代活躍応援プロジェクト (滋賀労働局委託・びわ湖放送再 委託事業)</p> <p>2. 働き方改革の推進</p> <p>(1) 地方版政労使会議「滋賀県働き 方改革推進協議会」への参画</p> <p>(2) 法改正関係の解説と周知 (滋賀労働局との意見交換)</p> <p>3. 労働・雇用課題対応</p> <p>(1) 各種研究会活動の推進による人 材育成</p> <p>(2) 滋賀県立高等専門学校開設に向 けた取組み (明日の滋賀を創造する委員会共 催)</p> <p>(3) 行労使団体との意見交換会実施 (滋賀県・滋賀労働局・連合滋賀・ 社労士会等)</p> <p>(4) 賃金・一時金・初任給実態調査 アンケート、実施と労経資料の 作成・提供</p>

2026年度事業推進表(案)



2026年度 主要事業スケジュール

No.	事業名	各事業	開催回数	実施予定月
1	通常総会		1	5月22日
2	理事会		3	4月22日、5月22日、3月
3	正副会長会		1	9月
4	総務委員会	委員会	2	4月15日、3月
		地域別懇話会	3	7月28日、11月、2月
		定例ゴルフコンペ	1	10月22日
		一八会（ゴルフ同好会）	3	5月28日、9月、1月
5	経営委員会	委員会	2	6月
		ハノイ工科大学 就業体験、ジョブフェア	2	就業体験8月、 ジョブフェア10月31日、11月1日
		中小企業モノづくり部会	4	7月、9月、11月、1月
		経営実態調査（景況、価格転嫁・賃金など）	1	6月
		若手・中堅従業員の交流	1	10月
		人材育成関連事業（リカレント教育）	随時	9月～11月
6	技術委員会	委員会	3	6月16日、2月
		生成AI活用セミナー	1	7月3日
		新技術・新工法展示商談会 （しがモノづくり技術共創マッチング事業）	3	7月17日（平田機工㈱）、 10月16日（㈱三社電機製作所）、 2月19日（大阪）
		県内外理工系大学見学会	2	7月～12月
		カイゼン大会	1	6月16日、2月
		技能実習セミナー（電気保全）	1	10月28日～30日
		北部産業技術共創センター見学会	1	11月
7	環境委員会	委員会	2	6月10日、2月
		CO ₂ ネットゼロ推進事業（県・他団体と連携）	随時	7月～3月
		サーキュラーエコノミー関連企業視察	1	9月
8	明日の滋賀を 創造する委員会	委員会	2	7月、2月
		県立高専開校（2028年4月）への協力	随時	5月28日（第4回イベント） 5月～3月
		未来の滋賀を担う理工系人材の育成	随時	5月～3月
9	労働政策委員会	委員会	2	7月16日、3月
		障害者雇用関連事業（見学会・セミナー）	2	9月、2月
		賃金実態調査・労経資料（賃金統計）	随時	6月～2月
		最低賃金審議会（地域・産業別）	25	7月～11月
		県内高校見学会	3	6月～2月
		大学との意見交換会	1	12月
		合同企業説明会（中高年世代活躍応援）	1	12月7日
10	研究会事業	人活×人事・労務	6	6月～12月
		IE	8	6月～1月
		安全マインド育成	3	6月～8月
		自律型生産リーダーの要諦	6	6月～11月
		品質保証	8	6月～2月
		AI×IoTの基礎を学ぶ	6	7月～12月
		現場見学	6	6月～3月
		未来のチャレンジャー育成	8	6月～2月
		共創型リーダー育成	6	6月～12月

2026年度 収支予算書（案）

2026年4月1日～2027年3月31日

単位：円

科 目	当年度予算	前年度予算	増 減	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①会費収入				
既会員費	47,800,000	47,750,000	50,000	協会年会費
新入会員費	1,000,000	1,200,000	△ 200,000	目標10社
②事業収入				
事業受託収入	1,260,000	0	1,260,000	中高年世代活躍応援プロジェクト (合同企業説明会)
③補助金収入				
補助金収入	11,000,000	9,000,000	2,000,000	しがモノづくり技術共創マッチング事業(新技術新工法展示商談会)
④負担金収入				
負担金収入	19,500,000	22,926,000	△ 3,426,000	各事業の受講料、懇親会費
⑤雑収入				
受取利息	80,000	20,000	60,000	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入合計	80,640,000	80,896,000	△ 256,000	
2. 事業活動支出				
事業費支出				
給料手当	4,780,000	4,207,000	573,000	補助金事業職員給料手当、 補助事業職員負担分
法定福利費	640,000	626,000	14,000	補助金事業職員社会保険事業主 負担分
福利厚生費	10,000	10,000	0	補助金事業職員検診料等
旅費交通費	320,000	380,000	△ 60,000	事業用旅費、交通費
通信運搬費	800,000	900,000	△ 100,000	郵送費、各種発送費
印刷製本費	1,020,000	919,000	101,000	コピー費、事業案内等印刷
会議費	4,660,000	4,744,000	△ 84,000	委員会等事業 会議費
調査研究費	100,000	100,000	0	視察会、各種調査費
教育研修費	13,770,000	11,891,000	1,879,000	研究会・研修会開催費、 受託事業関連
広報費	2,500,000	2,000,000	500,000	しが経産協ニュース
講師派遣料	2,520,000	2,490,000	30,000	法人・団体向け講師料
講師料	2,220,000	3,129,000	△ 909,000	個人向け講師料
渉外費	300,000	308,000	△ 8,000	事業用渉外費
燃料費	100,000	50,000	50,000	ガソリン類
事業費合計	33,740,000	31,754,000	1,986,000	

単位：円

科 目	当年度予算	前年度予算	増 減	備 考
管理費支出				
給料手当	25,820,000	28,000,000	△ 2,180,000	職員5名、出向3名
退職金	0	0	0	
福利厚生費	1,270,000	1,100,000	170,000	中退共、所内福利厚生費
法定福利費	4,380,000	4,800,000	△ 420,000	職員社会保険事業主負担分、労働保険、基金等
会議費	2,230,000	2,550,000	△ 320,000	総会、理事会、正副会長会費用
旅費交通費	1,500,000	1,417,000	83,000	職員、出向者、受託事業職員、通勤手当
通信運搬費	740,000	736,000	4,000	電話料、セキュリティ対策
什器備品費	50,000	50,000	0	事務局用
消耗品費	350,000	350,000	0	文具、封筒類作成費
印刷製本費	700,000	700,000	0	総会資料
共益費	500,000	500,000	0	事務局用共益費
賃借料	3,730,000	3,707,000	23,000	事務局家賃、リース料
減価償却費	10,000	10,000	0	
租税公課	1,200,000	1,200,000	0	消費税、登記料金
負担金	1,750,000	1,750,000	0	各団体加入費・連絡調整会議費
調査研修費	270,000	230,000	40,000	新聞代、書籍購入
渉外費	200,000	200,000	0	会員用慶弔見舞金
損害保険料	110,000	70,000	40,000	自動車任意保険、自転車保険
雑費	650,000	750,000	△ 100,000	税理士報酬、手数料
管理費合計	45,460,000	48,120,000	△ 2,660,000	
事業活動支出合計	79,200,000	79,874,000	△ 674,000	
事業活動収支差額	1,440,000	1,022,000	418,000	
Ⅱ投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
退職給付引当預金取崩	0	0	0	
投資活動収入合計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
固定資産取得支出				
退職給付引当金繰入額	700,000	700,000	0	
投資活動支出合計	700,000	700,000	0	
投資活動収支差額	△ 700,000	△ 700,000	0	
Ⅲ財務活動収支の部	0	0	0	
Ⅳ予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	740,000	322,000	418,000	
前期繰越収支差額	36,630,497	36,308,497	322,000	
次期繰越収支差額	37,370,497	36,630,497	740,000	

第3号議案 任期満了に伴う役員改選について

一般社団法人 滋賀経済産業協会 理事・監事名簿（案）

氏名50音順

協会役職	氏名	企業名	役職	備考
理事	浅野 邦彦	浅野運輸倉庫(株)	代表取締役会長	再任
〃	荒金 秀行	東レエンジニアリング(株)	滋賀事業場長	再任
〃	有森 淳三	TOTO(株)滋賀工場	工場長	再任
〃	井門 英也	キシステム(株)	常務取締役	再任
〃	石田 秀幸	甲賀高分子(株)	代表取締役社長	再任
〃	井手 慎司	公立大学法人滋賀県立大学	理事長・学長	再任
〃	入江 智祐	(株)ブリヂストン彦根工場	中日本生産部門長 兼 彦根工場長	新任
〃	宇野 克彦	日本精工(株)大津工場	大津工場長	再任
〃	撰 裕喜	積水化学工業(株)滋賀栗東工場	工場長	再任
〃	大日陽一郎	山科精器(株)	代表取締役社長	再任
〃	大島 節子	新旭電子工業(株)	代表取締役社長	再任
〃	大塚 誠嚴	大塚産業マテリアル(株)	代表取締役社長	再任
〃	大西健太郎	関西電力(株)滋賀支社	理事 滋賀支社長	再任
〃	大西 淳一	大西電子(株)	代表取締役社長	再任
〃	大西 誠	(株)アテクト	代表取締役社長	再任
〃	奥田 浩士	ダイハツ工業(株)滋賀(竜王)工場	工場長	再任
〃	奥村 晋一	(株)オーケーエム	代表取締役社長	再任
〃	小椋 秀男	(株)平和堂	執行役員総務部長兼CS推進部長	再任
〃	小田柿喜暢	大洋産業(株)	代表取締役社長	再任
〃	加藤 由久	王子エフテックス(株)滋賀工場	執行役員滋賀工場長	新任
〃	上村 透	オプテックス(株)	取締役会長	再任
〃	蒲生 仙治	日本ソフト開発(株)	代表取締役社長	再任
〃	川口 剛史	(株)市金工業社	代表取締役社長	再任
〃	川西 民雄	(一社)滋賀経済産業協会	事務局専従	再任
〃	北川 吉治	スズクニ・トキワ精機(株)	相談役	再任
〃	北村 英樹	草津電機(株)	代表取締役副社長	新任
〃	木寅善太郎	大阪ガス(株)	滋賀地区統括支配人	新任
〃	久保寺紀之	(株)村田製作所野洲事業所	上席執行役員事業所長	新任
〃	熊本 吉喜	大津板紙(株)	代表取締役社長	再任
〃	高津 真一	旭化成(株)守山製造所	理事 守山製造所長	再任

協会役職	氏名	企業名	役職	備考
理事	上月 嘉継	パナソニック㈱くらしアプライアンス社	常務	再任
〃	河野 雅行	オムロン㈱草津事業所	事業所長	再任
〃	坂口 康嗣	近江鍛工㈱	代表取締役社長	再任
〃	清水 雄二	東レ㈱滋賀事業場	常任理事 滋賀事業場長	再任
〃	清水 貴之	日伸工業㈱	代表取締役社長	再任
〃	鋤本 浩	ダイキン工業㈱滋賀製作所	渉外担当	再任
〃	杉本 修啓	㈱三東工業社	代表取締役社長	新任
〃	高井 文彦	日本ポリスター㈱	代表取締役社長	再任
〃	高橋 康之	高橋金属㈱	代表取締役社長	再任
〃	竹下 元	近江化学工業㈱	代表取締役社長	再任
〃	田代 芳樹	川重冷熱工業㈱	取締役 生産総括室長 工場長	再任
〃	谷川 昇	綾羽㈱	常務取締役	再任
〃	谷口 彰	アイズ㈱	代表取締役社長	再任
〃	辻 昌宏	㈱近江兄弟社	代表取締役社長	再任
〃	寺嶋 嘉孝	㈱寺嶋製作所	代表取締役社長	再任
〃	富田 将斗	レンゴー㈱滋賀工場	工場長	再任
〃	友岡 正明	㈱メタルアート	代表取締役社長	再任
〃	中作 佳正	㈱ナカサク	代表取締役社長	再任
〃	中村 聖二	湖北工業㈱	取締役CFO	新任
〃	西脇 紀孝	タカラバイオ㈱	執行役員	再任
〃	林 大輔	㈱ゴーシュー	代表取締役社長	新任
〃	原藤 省吾	㈱関西みらい銀行	代表取締役社長	新任
〃	福田 弘	日野精機㈱	代表取締役社長	再任
〃	堀内 勝美	㈱滋賀銀行	代表取締役専務執行役員	再任
〃	堀 英二郎	㈱ホリゾン	取締役会長	再任
〃	三浦 武也	大正電機製造㈱	代表取締役社長	再任
〃	森 和之	新江州㈱	代表取締役社長	再任
〃	森 さおり	古河A S㈱	総務部長	再任
〃	山本 勝彦	日本電気硝子㈱	総務部長	再任
〃	横江 雅弘	滋賀産業㈱	代表取締役社長	再任
監事	有村 治彦	キリンビール㈱滋賀工場	工場長	新任
〃	大杉 成聖	びわ湖放送㈱	専務取締役	再任
〃	西野 優	㈱日吉	常務取締役	新任

第4号議案 会費の額とその払込方法について

会費の額とその払込方法（案）

(1) 会費額

区分	資本金割	金額 (A)	従業員割	金額 (B)
1	～ 999万円	25,000円	～ 49人	25,000円
2	1,000 ～ 2,499	35,000	50 ～ 99	35,000
3	2,500 ～ 4,999	45,000	100 ～ 199	45,000
4	5,000 ～ 9,999	60,000	200 ～ 299	60,000
5	10,000 ～ 49,999	80,000	300 ～ 499	80,000
6	50,000 ～ 99,999	100,000	500 ～ 999	100,000
7	100,000 ～ 299,999	125,000	1,000 ～ 1,499	125,000
8	300,000 ～	150,000	1,500 ～	150,000

- ① 会費額（年会費）＝資本金割金額（A）＋従業員割金額（B）
- ② 従業員数は正社員のみ
- ③ 県外本社企業の資本金割会費は「資本金×県内従業員数／全体従業員数」を適用
- ④ 1企業で2事業所以上の入会があるときは資本金割を重複させない。
- ⑤ 個人会員及び学術機関の会費は5万円
- ⑥ 途中入会者の払込方法
$$\text{年会費} \times \frac{\text{残月数}}{12} = \text{会費額}$$
- ⑦ 払込方法 年2回（前期：6月末まで、後期：10月末まで）
- ⑧ 前年度3月末日時点で、資本金、従業員数に変更がある場合は事務局へ報告をお願い致します。当年度の5月末までにご連絡のない場合は、前年度と同額でご請求申し上げます。

(2) 役員特別会費（2005年度総会にて承認）

会 長 = 20万円 副会長 = 10万円
 常任理事 = 8万円 理 事 = 5万円

会長公職

No.	団体名
1	滋賀経済団体連合会
2	滋賀県産業教育振興会 副会長
3	滋賀県産業ひとつくり懇話会
4	滋賀県信用保証協会 理事

No.	団体名
5	公立大学法人滋賀県立大学経営協議会
6	関西国際空港全体構想促進協議会
7	(公財) 日本関税協会 大阪支部京滋地区会 副会長
8	北方領土返還要求運動滋賀県民会議 理事

関係団体

No.	団体名
1	(一社) 日本経済団体連合会
2	(公社) 関西経済連合会
3	関西各地経協専務・事務局長会議
4	滋賀県労働委員会使用者委員
5	最低賃金審議会 本審委員
6	最低賃金審議会 産業別委員
7	労働審判員
8	滋賀県働き方改革推進協議会
9	滋賀県高等学校就職問題検討会議
10	滋賀県立高等学校在り方検討委員会
11	「高等専門学校の設置に向けた共創宣言」9団体
12	しがクリエイター12プロジェクト事業コーディネート委員会 (瀬田工業高校、八幡工業高校、彦根工業高校)
13	美しい湖国をつくる会
14	海と日本プロジェクトin滋賀県
15	えせ同和行為防止滋賀県民会議
16	(公財) 淡海環境保全財団
17	近江の春 びわ湖クラシック音楽祭推進委員会
18	(公財) 淡海文化振興財団
19	(公社) 関西ニュービジネス協議会
20	(一社) 環びわ湖大学・地域コンソーシアム
21	京都新聞「警察功労賞」選考委員会
22	公正採用選考人権啓発協力員会議
23	(一社) 国際産業関係研究所
24	湖南・甲賀環境協会
25	雇用保険審査参与
26	滋賀県科学教育振興委員会
27	滋賀県がん対策推進協議会
28	(公財) 滋賀県環境事業公社
29	滋賀県環境審議会
30	(公社) 滋賀県環境保全協会
31	滋賀県教育委員会事務の点検・評価
32	滋賀県教育振興基本計画審議会
33	滋賀県契約審議会
34	滋賀県献血推進協議会
35	滋賀県公害審議会
36	滋賀県工業技術総合センター運営懇話会
37	更生保護法人 滋賀県更生保護事業協会
38	滋賀県(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
39	(公財) 滋賀県国際協会

No.	団体名
40	滋賀県子ども若者審議会
41	滋賀県雇用対策協定運営協議会
42	滋賀県在籍型出向等支援協議会
43	(公財) 滋賀県産業支援プラザ
44	滋賀県産業ひとつくり協議会
45	滋賀県産業保健総合支援センター運営協議会
46	滋賀県産業立地推進協議会
47	滋賀県シガリズム推進協議会
48	特定非営利活動法人滋賀県就労支援事業者機構
49	滋賀県障害者施策推進協議会
50	滋賀県職業能力開発審議会
51	滋賀県地域職業能力開発促進協議会
52	滋賀県地方労働審議会
53	滋賀県中学生チャレンジウィーク支援会議
54	滋賀県中小企業活性化審議会
55	(一社) 滋賀県発明協会
56	滋賀県公立大学法人評価委員会
57	(公財) 滋賀県緑化推進会
58	滋賀県Wi-Fi整備促進協議会
59	しがCO2ネットゼロ推進協議会
60	しが水素拠点形成コンソーシアム
61	滋賀ものづくり人材育成協力会
62	滋賀リカレント教育コアリション
63	滋賀留学支援コンソーシアム
64	滋賀労働局安全衛生労使専門家会議
65	仕事と生活の調和・女性活躍推進会議しが
66	次世代育成支援対策推進センター
67	障害者差別解消に関する条例検討専門分科会
68	障害者差別解消支援地域協議会
69	だれもが住みたくなる福祉滋賀まちづくり推進会議
70	トラック輸送における取引環境・労働時間改善滋賀県協議会
71	長浜ビジネスサポート協議会
72	「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議
73	(公財) 日本生産性本部
74	(一社) バイオビジネス創出研究会
75	琵琶湖サポーターズ・ネットワーク
76	部落解放・人権政策確立要求 滋賀県実行委員会
77	労働者災害補償保険審査参与
78	労働者派遣事業適正運営協力員